

今回は、先日南河内のある山の山頂付近で見つけた「ツルニンジン」を紹介します。

この野草、これまで図鑑でしか見たことがなかったのですが、“こんな芸術作品みたいな花もあるんだ...”とっていました。

そしてついに、その実物に出会えたのです！

この種は「キキョウ」の仲間で、主に山地の道端や林縁などに生育しており、ツルでまわりの草木に絡みついて伸びていきます。

この日、出会った個体の多くは「アザミ」(ノハラアザミ)に絡みついていました。

花は下向きに咲きますので、花の内部はのぞき込まないと見ることはできません。

腰をかがめてのぞき込んでみたら...

## 写真 : つぼみ

キキョウに似て、紙風船のような蕾(つぼみ)です。  
最初は、“何かの実だろう”とっていました...

## 写真 : 蕾が割れ始める...?

閉じていた花びらが開いてきた、と思ったのですが、中に見えるのが本当の蕾なのでしょうか？

## 写真 ・ : 割れ始めたのは...

やはり、割れ始めたのは蕾ではなく、蕾を包んでいた「がく」でした。  
5つに裂けて、見事な星形に開きます。

## 写真 : 開花！

開花している花を見つけました。  
下向きに咲いていますので、その花の中を下からのぞき込んでみると...

## 写真 ~ : 花の内部

チベットの密教画を思わせるような柄にしばし感動...  
この花も「キキョウ」や「ゲンノショウコ」と同じく、“雄性先熟”の花で“雄花期”と“雌花期”があります。

## 写真 ・ : 花びらが散った後

の写真では、朽ちているものの、まだ雌しべと雄しべがわかります。  
中央部に実が熟すのでしょね。





































